

令和7年度 第1回 「淡路島観光戦略会議」議事要旨

日時：令和7年6月27日（金） 16:00~16:50

場所：淡路広域消防ビル3階 多目的ホール

出席者：淡路県民局長、洲本市長、南あわじ市長
淡路市長、淡路島観光協会会長

議題（1）令和6年度 淡路島総合観光戦略アクションプランの
取組実績と課題について

（2）令和7年度 淡路島総合観光戦略アクションプランの
取組について

（3）その他

事務局から資料1-1、1-2、1-3、2、3、参考資料について一括して
説明

①バス停の改修（英語表記）について

【構成員】

- ・ インバウンドの方がバスで来島された時に、快適に観光するためにもバス停の英語表記は早めの対応をお願いしたい。

【事務局】

- ・ 関空及び神戸空港関連の地域振興事業の中で、ナンバリングや多言語化対応のため、今年度から順次バス停標柱の置き換え等を実施する予定。

【構成員】

- ・ 洲本ICのバス停の改修については、まずは測量から進めていく方向で、国の交付金の活用も含め検討している。

②KPIの達成度について

【構成員】

- ・ 「観光客の満足度」について、アンケートで満足していない理由の記載はあったか。

【事務局】

- ・ 理由の記載は特になし。

【構成員】

- ・ 「観光客の満足度」について、どの項目の点数が低いのか。

【事務局】

宿泊施設に泊まった方がアンケートを回答しているケースが多いので、宿泊に関しては満足度が高い傾向にある。

体験・アクティビティの項目が 30%台と一番低くなっている。これはアンケートの集計上、体験・アクティビティをしていない方もその項目を評価するようになっており、その方々が満足度について「どちらでもない」と回答をしているため、全体として数字が押し下げられている。

ほか、地域への再訪意向は 100%に近い数字、それ以外の項目は 70%に近い数字となっており、全体平均は 73.4%となる。

③「本物体験プラン」の売り方、観光誘客の仕掛けについて

【構成員】

- ・ 「本物体験プラン」を多くの方に広く売る方法や、京都や大阪、関空、神戸空港、徳島空港から観光客に来てもらうための取組は何かあるか。

【事務局】

- ・ 「本物体験プラン」の HP の英語表記化やアジア圏に特化した OTA（オンライン旅行代理店）である「KKday」に掲載してもらうことで、「本物体験プラン」を広く周知している。また、ネットワークイベントや商談会で繋がりができた DMC（地域と連携して観光地域作りを行い、観光客誘致を目指す旅行会社）の方にプランの概要、価格等を示したタリフを定期的に送付しており、実際にプランを視察したいと言われている。

京都、大阪から来てもらうための取組については、今後、生産者の方と観光客を繋ぐコーディネーターの方や多言語対応できるガイドの方を充実させていく予定。いずれはスルーガイド（旅全体をサポートするガイド）を充実させていく予定。

- ・ 観光協会は DMO であるとともに、富裕層を中心としたインバウンドの方に対するランドオペレーター（旅行会社からの依頼を受けて、旅行先のホテル、レストラン、ガイド、交通機関などの手配を専門に行う事業者）でもあるが、今年度は、収益獲得を目指すのではなく、プラン数を増やして売り込むことに重点を置いているため、自主財源をまだ作れていない状態にある。来年度から本格的にランドオペレーターとして一定の収益を積んで旅行会社にプランを売り込むビジネスモデルを作ることで、自主財源を確保していく。

【構成員】

- ・ 実際に富裕層をターゲットにした方策はあるか。

【事務局】

- ・ 最近の富裕層が旅行プランを立てる際は、日本の DMC に直接依頼することが多いので、観光協会としては、その富裕層を顧客としている DMC を相手にビジネスをしていく方針である。

【構成員】

- ・ 収穫×食事、自然体験×食事、のような色んなコンテンツと食事を合わせたプラン作りを今後も進めていただきたい。

③空港からのアクセスについて

【構成員】

- ・ 神戸空港から淡路島内へのバスが8便しかないので、神姫バス、淡路交通などの交通事業者を増便を要望してはどうか。

【構成員】

- ・ やり方については、事務局で今後検討すること。

④関空及び神戸空港関連の地域振興事業について

【構成員】

- ・ 関空自体が淡路島へ観光客を誘客する策はあるのか。

【事務局】

- ・ 関空は淡路島の観光についてできることがあれば協力しますというスタンス。

【構成員】

- ・ 淡路島側が関空に対して何を要望していくかを戦略立てる必要がある。

⇒令和7年度のアクションプラン、重要な取組及び主な取組について承認

⑤その他

【構成員】

- ・ 観光地は綺麗であるべきだと思うので、全島一斉清掃に合わせて、観光客と地域住民が協力したクリーンアップイベントをしてもいいのではないかな。

【構成員】

- ・ 8月には渦潮の環境シンポジウムがあるので、その場でPRすればクリーンアップに繋がるのではないかな。

【構成員】

- ・ 今後、アフター万博についても議論が必要かと思う。近隣地域とタイアップした芸術をテーマとしたイベント等が考えられるが、また皆さんのアイデアを頂きたい。

【構成員】

- ・ インバウンドを増やすためにも、淡路島単体ではなく、近隣地域と連携を視野に入れた観光事業が必要。その一つとして近隣地域とタイアップしたイベントは良いと思う。

【事務局】

- ・ 来年度何をしていくか検討する時期に来ているので、また各団体に意見を求めることもあるかと思いますが、その際はよろしくお願いします。

以上